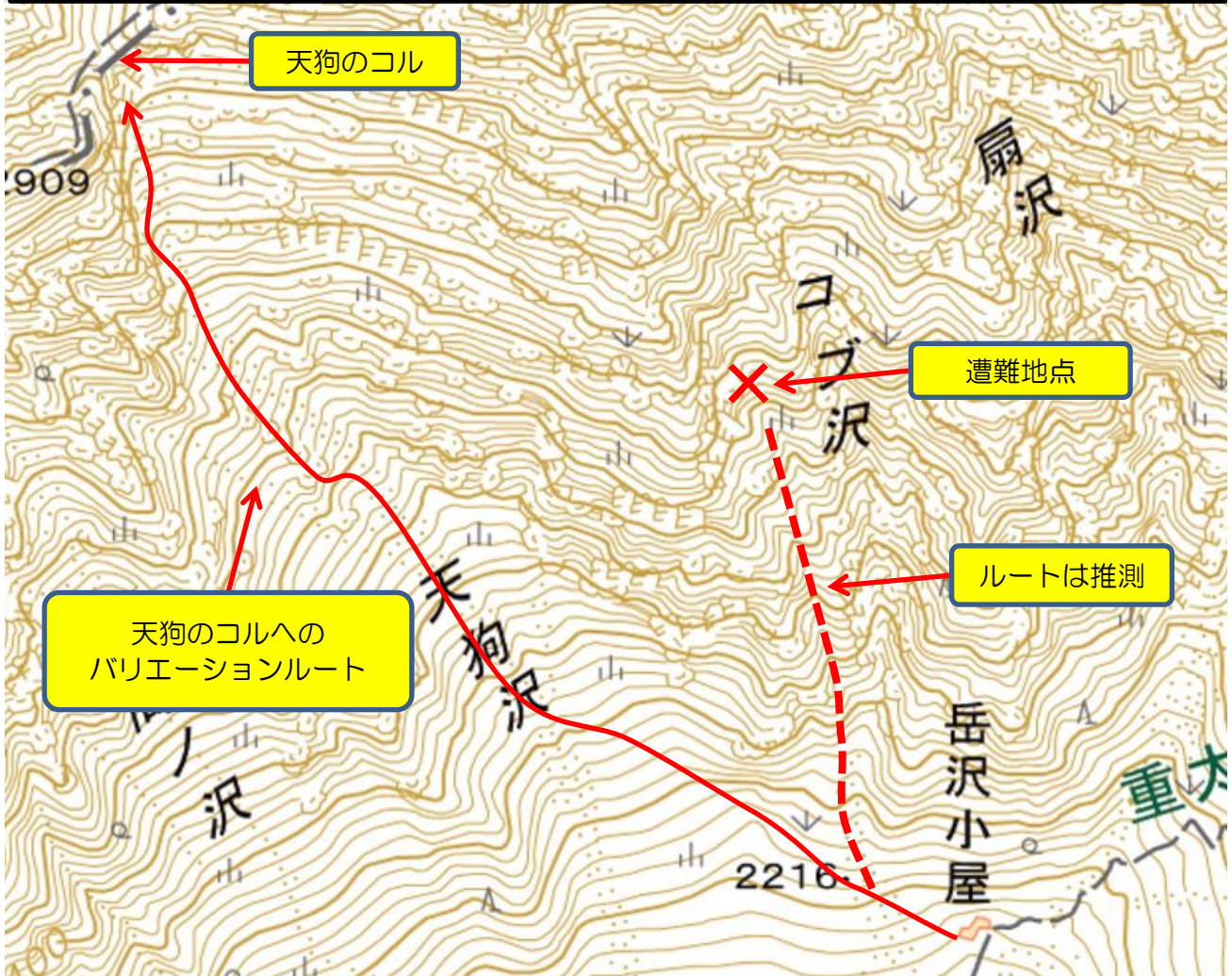


天狗沢遭難(2023年8月)

岳沢小屋～天狗の科尔～ジャンダルム～奥穂高・前穂高～岳沢を一周する計画。天狗沢を登らずコブ沢方面の急斜面を登り身動きが取れず救助要請した。



解説

なにをどう間違っ、どういう思考回路でこんなところへ行ったのか、ワケがわかりません。地図は持ってない？ヤマレコ・ヤママップ使ってない？地形、地名は頭に入っていないのか！？

張りっ放しのテントを見に行ったら、スポーツデポやアルペンのオリジナルブランドの安いテント…。警察はまだ登山靴を履いて、ヘルメットを被っていただけ、今年の遭難者の中ではマシな方と言ってたけど、どう考えても天狗沢～ジャンダルムに挑戦する資格の無い輩だろう。

警察での事情聴取を終え、テントを郵送で送ってくれないかと本人から電話が来たので、「こんなお粗末な遭難者にかかる温情は無い、自分で回収に来るまで毎日2000円のキャンプ代を加算するからな」と言った私はひどい人間でしょうか？そして今日、小屋の掲示が一つ増えました。『今年に入って、岳沢を取り巻く山(前穂～奥穂～西穂)ではすでに8名の登山者が亡くなっております。(その他、怪我人等の救助者5名)』(HP参照)

2023年8月、西穂～奥穂高～白出沢～新穂高まで縦走した。見ていて大丈夫か？と思われる初心者も奥穂～ジャンの往復をしていた。ロバの耳や馬の背に鎖を付ければ、今以上に初心者が溢れかえり、死者が増えるのではという懸念がある。小屋の方のテント郵送のやり取りは、「あり」だと思う。常識を知らない初心者に常識を教える。それだけだと思う。